

美和小学校 学校だより

美風

平成27年12月11日

美和小学校
現職教育委員会

平成27年度第9号
(通算234号)

1年生の実践を紹介します！

生活科

「秋みつけ～落ち葉やどんぐりでお面作り～」

郷西公園、八剣社に秋みつけに行きました。郷西公園に行くと、「葉っぱが赤や黄色になってきれいだね。」という声が子どもたちから聞こえてきて、夏に行ったときとの様子の違いに多くの子が気付いていました。八剣社では、まつぼっくりやどんぐりをたくさん拾うことができました。



秋みつけの後は、校外学習で行った東山動物園や、近くの公園で拾ってきた落ち葉や、どんぐりも合わせてお面作りをしました。それぞれ、お気に入りの葉っぱやどんぐりを使って秋らしいお面を作ることが出来ました。



体育 「跳び箱の練習」

11月からは、跳び箱の学習を行っています。マット運動の時にやった川跳びや、両手をついてお尻を上げる運動をしながら、跳び箱に慣れる練習をしました。2段から3段が跳べるようになったり、当初よりも跳び方が上手くなる子が増えました。準備、片付けも自分たちで出来るようになりました。



図工 「作品展に向けて」



作品展の作品作りが始まりました。立体作品は、それぞれシェフになりきって、自分の好きな食べ物を粘土で作っています。子どもたちは楽しみながら、「おいしく見えるにはどうしたらいいかな。」と、試行錯誤しながら作っています。

(1年担任 坂田未歩 湯澤幸祐 村上桂子)

福祉実践教室

毎年、福祉への理解を深めることを目的とした福祉実践教室が行われています。今年度は、10月9日（金）に行われました。

参加者は、4～6年生の児童です。まず、体育館で講師の先生から福祉についてお話を聞きました。その中で、「福祉実践教室が、心の木を植える機会になってほしい。」といったお話がありました。障がいのある人はどんな気持ちで生活しているのか、どんなことで困っているのかなど、子どもたちは真剣な態度で聞いていました。

その後、「手話」「点字」「車いす」に、昨年度から新たに加わった「認知症サポーター養成講座」の4つの講座ごとに分かれて体験活動をしました。どの講座でも子どもたちは意欲的に取り組んでいました。手話の講座では、「手話の仕方を知らなくても、口話や空書などで耳の不自由な人ともコミュニケーションがとれるから進んで話してみたい。」と感想を述べた子がいました。

身の回りには点字やスロープの設置などにより、障がいのある人が生活しやすい世の中に変わってきています。だれもが暮らしやすい世の中にするために、自分たちは何ができるのか、今回の福祉実践教室を通して、子どもたち一人一人が考えるよい学習となりました。子どもたちはきっと「心の木を植える」ことができたと思います。大切に育てていって、思いやりのあるやさしい人になってほしいと願っています。

（担当 桑山 拓聖）



美和小の児童会活動

児童会では「わくわく交流会」と称し様々な活動を行っています。通学班の班長や副班長が読み聞かせを行い、登下校以外でも通学班の交流をしたり、地域の方を学校にお招きして、お手玉やあやとりなどの昔の遊びを教えていただいたりしています。



今年は例年と違う活動も行っています。「クイズラリー」では清



掃班のグループでプリントに書かれた問題に、学校中を探検して答えました。また、昼放課などに「大声集会」や「有志でおいごっこ」などのミニ集会も行いました。

児童会が中心になって、どの子も生き生きと学校生活を送っています。

（校務主任 加藤結花）

今後の予定

- | | | |
|----|---------|------------------------|
| 1月 | 7 日(木) | 始業式 |
| | 8 日(金) | 給食開始 |
| | 28 日(木) | 学校保健委員会 |
| 2月 | 3 日(水) | 学校公開日(午後) 作品展・ナイトギャラリー |
| | 4 日(木) | 作品展 |

